

知 っ て
ト ク す る

リフォームまめ知識

住宅版エコポイント緊急特集

Vol.

09

リフォームを始めるなら、いまがチャンス！ 『住宅版エコポイント制度』始まる。

いよいよ、住宅版のエコポイント制度がスタートしました。
マンションリフォームでは、エコロジーを考慮した工事に対して、
様々な商品・サービスと交換可能なエコポイントが取得できるようになります。



「住宅版エコポイント」ってどんなもの？新制度を徹底解剖！

チェック 1

適用期間は？

平成22年1月1日から12月31日に工事着手したもの

※工事着手とは、ポイント対象工事を含むリフォーム工事全体の着手をいいます。
(平成22年1月28日以降に工事が完了したものに限りません。)

チェック 2

対象となる マンションリフォームは？

窓の断熱改修や最上階の天井、最下階の床、外壁に接した室内壁の断熱改修

※これらに併せて、下記のバリアフリーリフォームを行う場合、ポイントが加算されます。

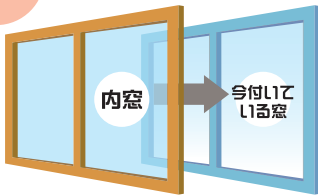
- 手すりの設置 **5,000ポイント**
- 屋内の段差解消 **5,000ポイント**
- 通路または出入口の幅の拡張 **25,000ポイント**

チェック 3

窓の工事には、どんなものがあるの？

内窓の設置

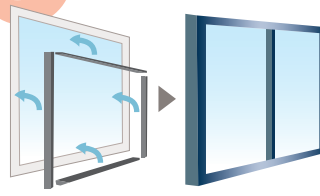
既存の窓の室内側に内窓を追加取り付けして「二重窓」にする。



窓の大きさ 大: 18,000ポイント
中: 12,000ポイント
小: 7,000ポイント

サッシ改修

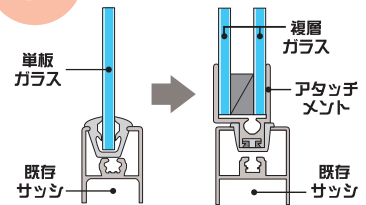
従来のサッシ枠の内側に新しいサッシ枠を取付。



窓の大きさ 大: 18,000ポイント
中: 12,000ポイント
小: 7,000ポイント

ガラス交換

単板ガラスをアタッチメント付き複層ガラスに取り替える。



窓の大きさ 大: 7,000ポイント
中: 4,000ポイント
小: 2,000ポイント

チェック 4

リフォーム減税も 受けられるの？

「全ての居室の窓全部の断熱改修」と「これに併せて行う床・壁・天井の断熱工事」をした場合、所得税の控除が受けられる制度がリフォーム減税です。
エコポイント制度と併用して減税も受けられるので今がチャンスです。

※「全ての居室の窓全部を改修」とちょっとハードルが高いのですが、エコポイント制度なら1つの窓のリフォームでも適用されます。

エコ+減税
ポイント

チェック 5

ポイントはどんな ことに使えるの？

1ポイント1円に換算されて、環境対策以外の改装費用にも充当可能です。

例えば… 白熱灯を蛍光灯に替えて消費電力を低減

例えば… カーテンを新調

※窓と合わせてイメージ一新

介護保険・助成制度も併用しながら賢くリフォームしましょう！

対象となる
住宅改修

手すりの取付

段差解消

すべり・転倒防止に床材の変更

引き戸等への扉の取り替え

洋式便器等への便器の取り替え

その他、前記に付帯する工事

利用できる金額

介護保険の場合

20万円を上限に1割自己負担
※原則として、介護保険の「要支援」「要介護」の認定を受ける必要があります。

自治体助成金の場合

自治体によっては
リフォーム費用が
大幅に異なります。

20万円のリフォームをした場合

自己負担 **2万円** + 助成金 **18万円**



※詳しくはお住まいの自治体にお問い合わせ下さい。

まずは朝日管理のリフォームコーディネーターに、ご計画やご要望をお聞かせください。